

Topics

第12回柳田邦男絵本大賞
表彰式が開催されました

1月31日、ゆいの森あらかわゆいの森ホールで「第12回柳田邦男絵本大賞表彰式」が開催されました。これは、絵本を読んで感じた感想や感動、読み聞かせをした体験などを書いた柳田さんへの手紙を募集し、柳田さんが特に感銘を受けた作品を選ぶという形式で実施しています。今回は、子どもの部の1,171作品と一般の部の9作品の応募があり、その中から大賞などに選ばれた方々の表彰式が行われ、柳田さんから直接賞状が授与されました。

また、表彰の後は、「子どもも大人も心が育つ～感想文1000通のすごさ～」というテーマで講演も行われました。



▲あいさつをする西川区長



▲柳田さんから賞状を授与



▲大賞受賞者と記念撮影

読書を愛するまち・あらかわ宣言

ゆいの森あらかわの開館や学校図書館の充実、柳田邦男絵本大賞の創設など、これまで荒川区が行ってきた読書環境の整備や読書活動推進の取り組みとその精神を未来につなげていくことで、子どもから高齢者まで、誰もが読書に親しみ、学びながら心豊かに暮らすことのできるまちづくりを進めることを目的に、平成30年5月に「読書を愛するまち・あらかわ」を宣言しました。



なりたい自分になる!
「アニメーター」
になるために!

将来の夢
インタビュー
第5回

劇場アニメ「ずっと前から好きでした。～告白実行委員会～」や「この世界の片隅に」などで原画、動画検査を担当。2020年秋放送予定のTVアニメで監督デビューする朝岡卓矢さんに話を聞きました。

何歳からアニメーターになろうと思っていましたか?

大学生(19歳)の頃からですね。小さい頃からテレビゲームの「グランディア」のような「アニメーターがキャラクターの動きを作っている」ゲームが好きだったので、その頃からアニメ業界とアニメーターに興味を持ったのかもしれません。

アニメーターになって嬉しかったこと、大変だったことは何ですか?

映画作品のスタッフロールに名前が出た時は嬉しかったです! 大変なのは制作進行の担当者とスケジュールを調整する中で、自分の生活リズムをしっかりと管理することです。

「アニメーターになりたい」と思ったら、まず何をすればいいですか?

仕事の中では一般常識が必要なので、高校生まではきっちり勉強をしておきましょう。中国語や英語を使えると国を問わずに仕事ができるので、語学も大事ですね。あとは「絵を描くこと」を自分の中で当たり前にしておくことも必要です。

監督という立場になって変わったことはありますか?

イメージを人に伝える力が求められるので、意識的に本を沢山読むようになりました。映画のシーンの模写などもしますし、監督になっても、勉強し続ける必要がありますね。

朝岡卓矢さん



8月7日生まれ。千葉県出身。現在、アニメーション制作会社(株)ティー・エヌ・ケーに所属し、作画・演出に携わるアニメーターとして活躍。

応援message



アニメーションとは「動き・動画」のこと。「テレビやインターネットを通じて、いろいろなアニメーション作品に触れてください」と朝岡さん。

あらかわ
今昔ものがたり
日 [あらかわの歴史と伝説]

【問合せ】荒川ふるさと文化館 ☎(3807)9234



その123 あらかわにあった大庭園
—三河島の大植木屋の庭—

新緑の季節に公園をお散歩すると、木々が淡い緑の若葉に覆われ、ツツジ・バラなどの初夏の花が咲き、とても爽やかな気持ちになるよね。ところで、自然がいっぱいだった江戸時代のあらかわに、季節を楽しむ場所があったのかな?

日ぐらしの里の花見寺を散策

実はね、江戸時代にも、そういう場所がいくつもあったんだ。代表的なのが「日ぐらしの里(西日暮里三丁目)」の花見寺(妙隆寺・修性院・青雲寺)に造られたお庭。お寺の境に垣根や塀がなくして自由に散策できたんだ。江戸の観光スポットで、沢山の人が訪れたんだよ。

三ノ輪・道灌山にあったお殿様のお庭

あらかわには、大名屋敷がいくつもあった。中には、りっぱな庭園を持つお屋敷もあったんだ。ジョイフル三ノ輪商店街付近の黒羽藩(今の栃木県大田原市)の大関家屋敷や道灌山(西日

暮里四丁目)にあった秋田藩(今の秋田県秋田市)の佐竹家屋敷には、池の周りをお散歩できる庭園があった。特に佐竹さんの庭園は、築山や珍しい形の岩を置き、四季の草木を植え、眺めを楽しむための東屋があった。「衆楽園」と呼ばれ、大名の中でも評判のお庭だったんだ。

三河島に大庭園!?

それだけじゃない。三河島で有名な三河島村に、1,200坪(約3,967㎡)の巨大なお庭があった。場所は、今の三河島駅の北、関川病院付近。梅・松・桜・桃などの樹木は数知れず。江戸の人に人気のあった梅は、八房梅・夫婦梅といった珍しい品種をそろえ、大名屋敷みたく池や築山、灯籠50基、庭石600個があったそうだよ。誰のお庭かという、なんと植木屋さん! 「大植木屋」と呼ばれていた伊藤七郎兵衛さんのお屋敷だ。七郎兵衛さんは、「江戸三大植木師」の一人で、将軍や大名の庭園を手掛けていた植木職人。三河島の大庭園は、庭造りの名人のお庭だったんだよ。



七郎兵衛さんが造った向島浩養園(すみた郷土文化資料館蔵)